

「紫色のカーテン」で節電

筑紫野市商工会 ツルムラサキ500本配布

室温下げ 市内に彩り

7月には窓覆う高さに

「紫色のカーテン」で節電を。紫をイメージカラーにした地域おこし「紫プロジェクト」を推進する筑紫野市商工会は、今夏に懸念される電力不足を乗り切る省エネに活用してもらおうと、ツルムラサキの苗500本を無料で市民に配る。室内温度を下げる「緑のカーテン」と、紫色の植物をまちに広げる紫プロジェクトを兼ねた取り組みだ。

という。帆足会長は「外から目立つ窓辺で育ててもらえば、省エネに役立ち、紫プロジェクトのPRにもなる」と呼び掛けている。

苗は原則1人3本。事

同商工会は2007年で寄贈してきた。今年も6月1日、建設工業部会（荒瀬良治部会長）の有志が育てた苗約200本を保育園など約20カ所に寄贈する予定。これと合わせ、今夏は福島第一原発事故の影響で節電が必要になるとして、ツルムラサキは栽培が簡単で、7月には窓を覆う高さに育つ。葉は食用になり、実を風呂に入れば紫色の湯も楽しめる



自宅敷地の畑でツルムラサキの苗500本を育て「紫色のカーテン」への協力を呼び掛ける帆足忠勝さん

前に電話で予約して同商工会まで取りに行ける市民が対象。苗は無料だが、東日本大震災の義援金への協力を呼び掛ける。
同商工会 11092(9)
222-2361。